

2009中野区区民意識調査

《概要版》

調査の概要

【調査の項目】

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 定住意向 | 5 生活に対する満足度 |
| 2 生活環境の満足度 | 6 インターネットの利用状況 |
| 3 生活の安全（防犯） | 7 施策への要望 |
| 4 仕事 | |

【調査対象】 中野区民で20歳以上の男女個人

【標本数】 1,300人

【有効回収数】 1,019人（有効回収率78.4%）

【標本抽出方法】 層化二段無作為抽出法

【調査期間】 平成21年9月16日（水）～平成21年10月7日（水）

【調査方法】 郵送配布・訪問回収

概要版の見方

- 1 （複数回答）と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問です。
- 2 集計は小数点第2位を四捨五入して算出しているため、回答率を合計しても100%にはならない場合があります。
- 3 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出しています。このため、複数回答の設問については合計が100%を超えることがあります。
- 4 グラフや数表中の「n=*」（*は数字）は設問の回答者数を表します。

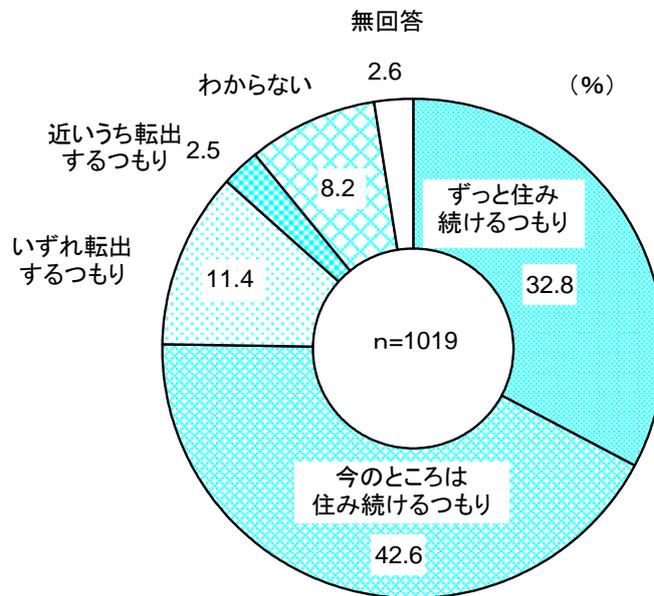
2010年（平成22年）3月

中野区

1 定住意向

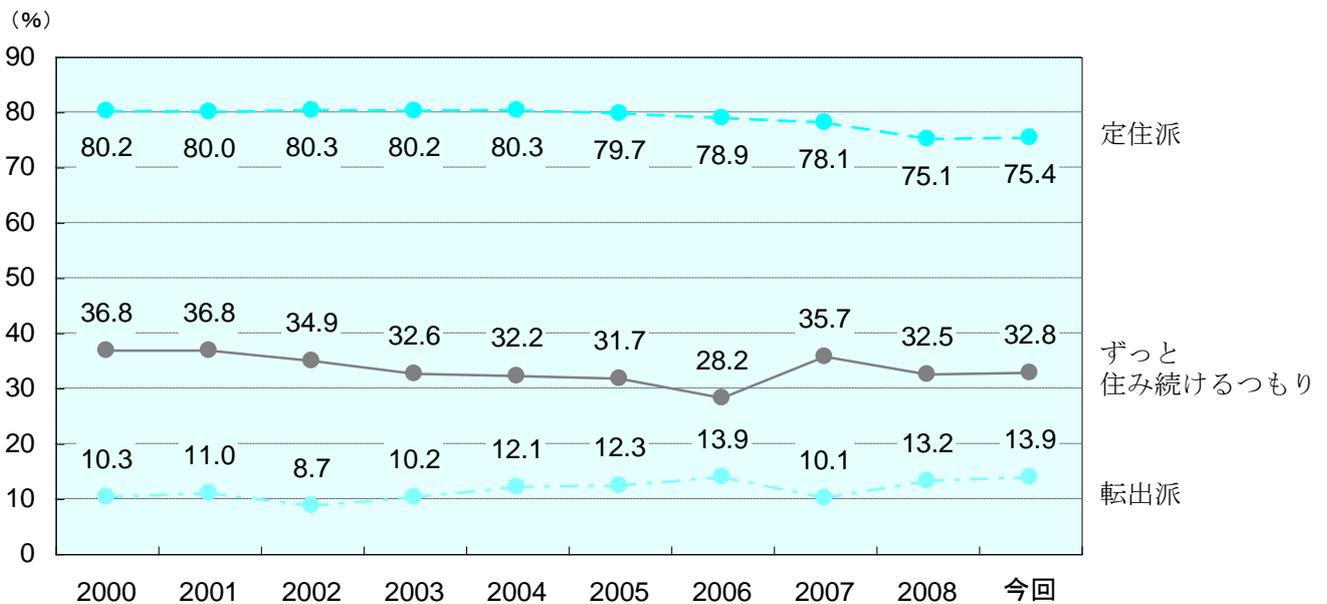
1 定住意向

定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」「今のところは住み続けるつもり」の合計を『定住派』、「いずれ転出するつもり」「近いうち転出するつもり」の合計を『転出派』とすると、『定住派』は75.4%、『転出派』は13.9%となっている。



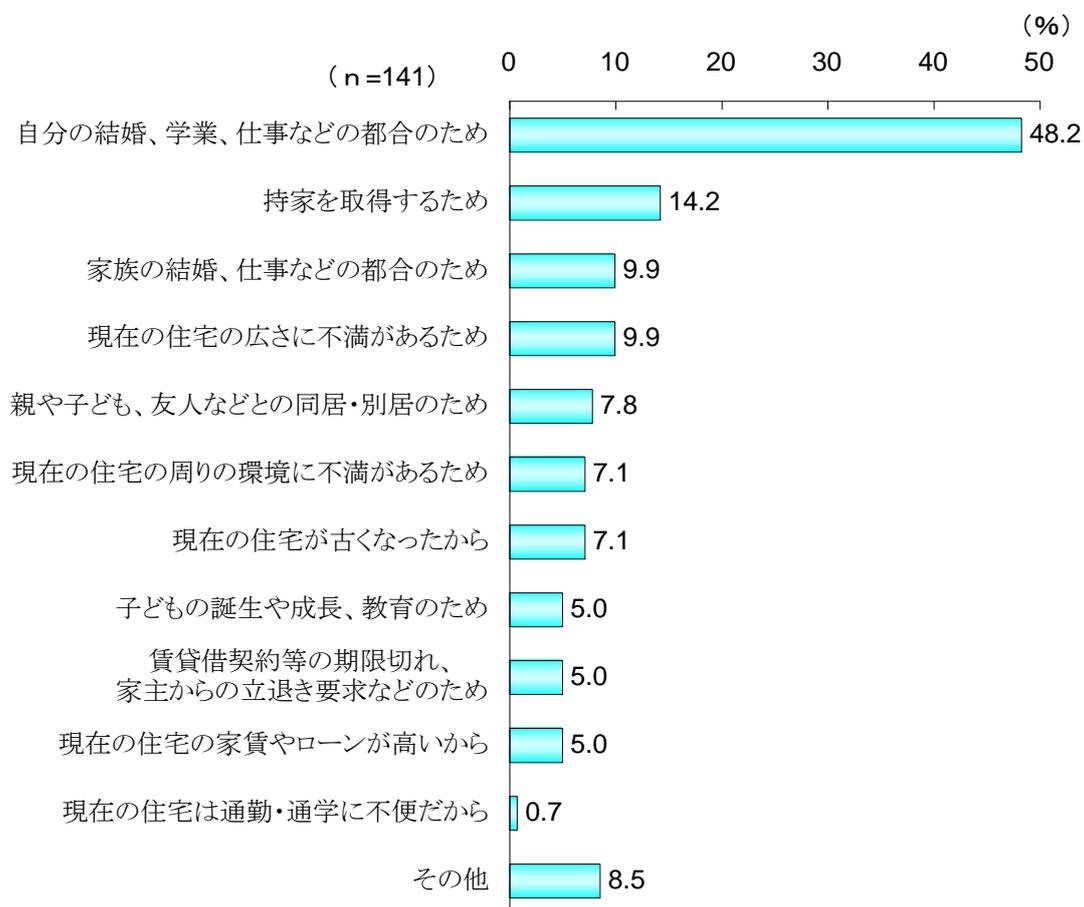
1-1 定住意向の推移

定住意向の過去10年間の推移をみると、『定住派』は2005年以降減少傾向にあったが、前回より増加して75.4%となった。一方、『転出派』も増加し13.9%となった。



2 転出理由

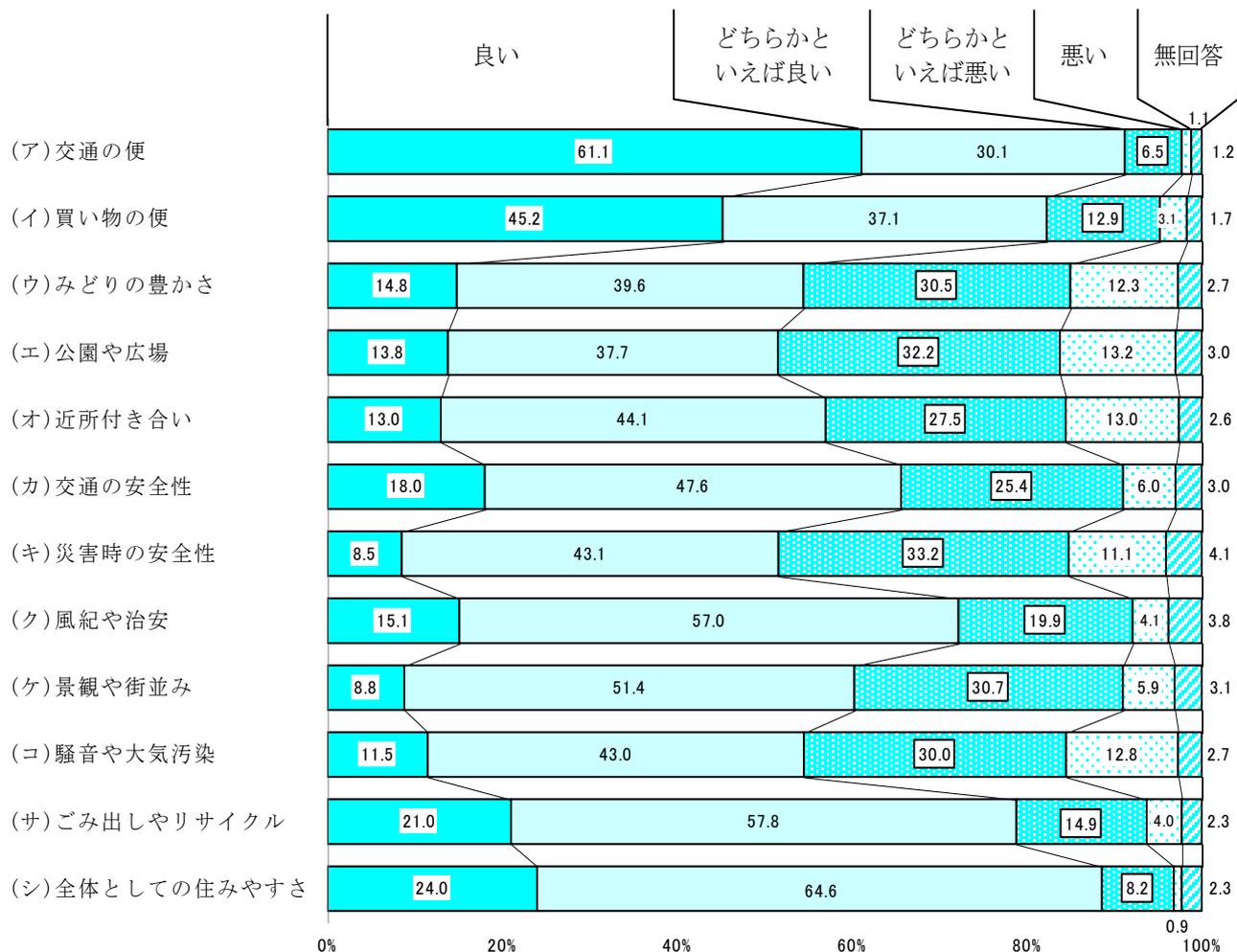
転出を考えている人に転出理由を聞いたところ、「自分の結婚、学業、仕事などの都合のため」(48.2%)が最も高く、次いで「持家を取得するため」(14.2%)、「家族の結婚、仕事などの都合のため」(9.9%)、「現在の住宅の広さに不満があるため」(9.9%)となっている。



2 生活環境の満足度

1 生活環境の満足度

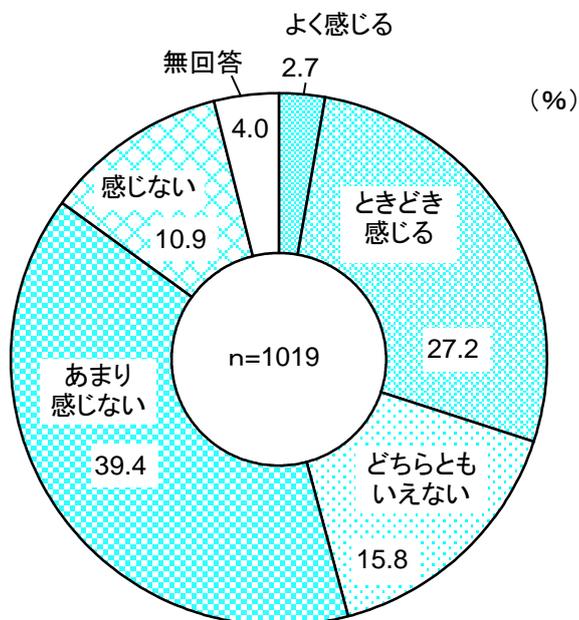
自宅周辺の生活環境に関する各項目について聞いたところ、「良い」「どちらかといえば良い」を合計した『良い評価』は、「交通の便」(91.2%)が最も高く、次いで「全体としての住みやすさ」(88.6%)、「買い物の便」(82.3%)となっている。一方、「悪い」「どちらかといえば悪い」を合計した『悪い評価』は、「公園や広場」(45.4%)、「災害時の安全性」(44.3%)、「みどりの豊かさ」(42.8%)、「騒音や大気汚染」(42.8%)となっている。



3 生活の安全（防犯）

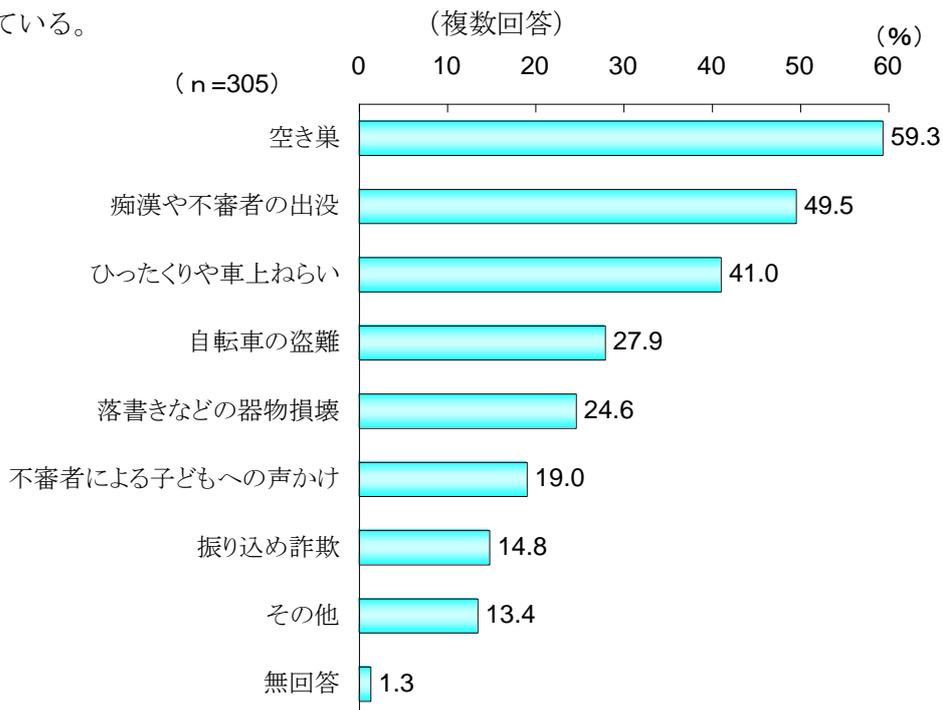
1 犯罪などに対する不安

日ごろの生活の中で、犯罪などに対して不安を感じるか聞いたところ、「よく感じる」「ときどき感じる」を合計した『不安を感じている』人は、約3割となっている。一方、「あまり感じない」「感じない」を合計した『不安を感じていない』人は約5割となっている。



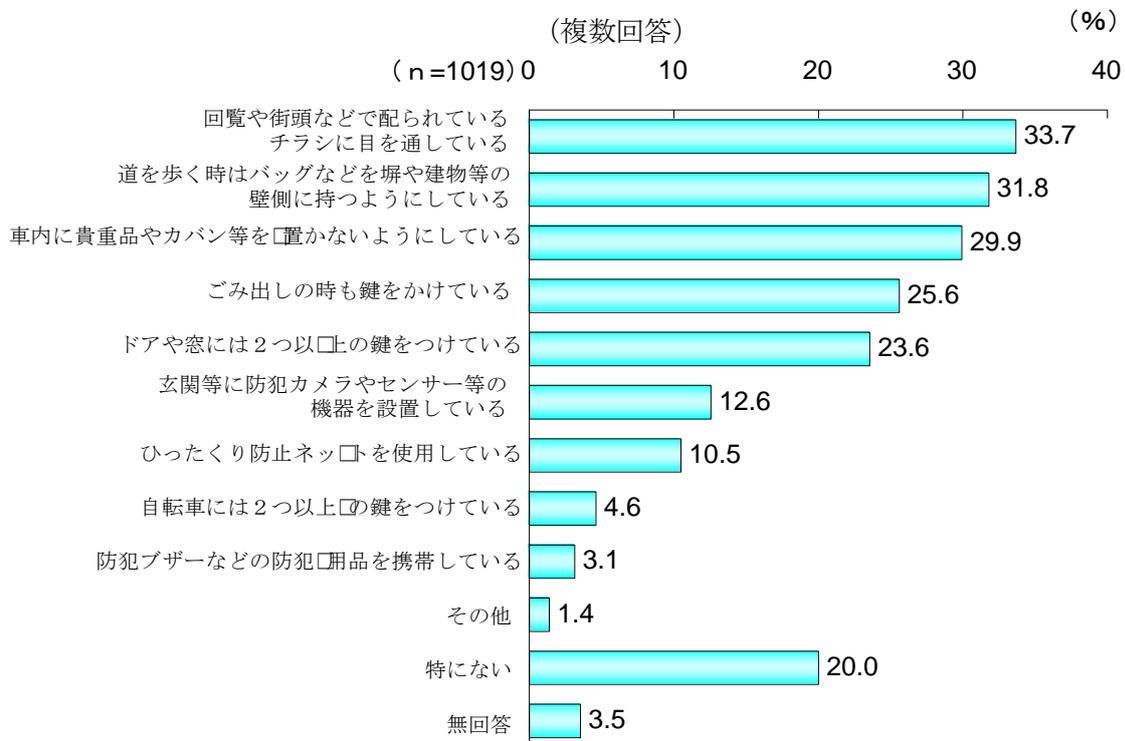
1-1 日ごろの生活の中で感じる危険

『不安を感じている』人に、日ごろの生活の中で感じる犯罪などの危険について聞いたところ、「空き巣」(59.3%)が最も高く、次いで「痴漢や不審者の出没」(49.5%)、「ひったくりや車上ねらい」(41.0%)となっている。



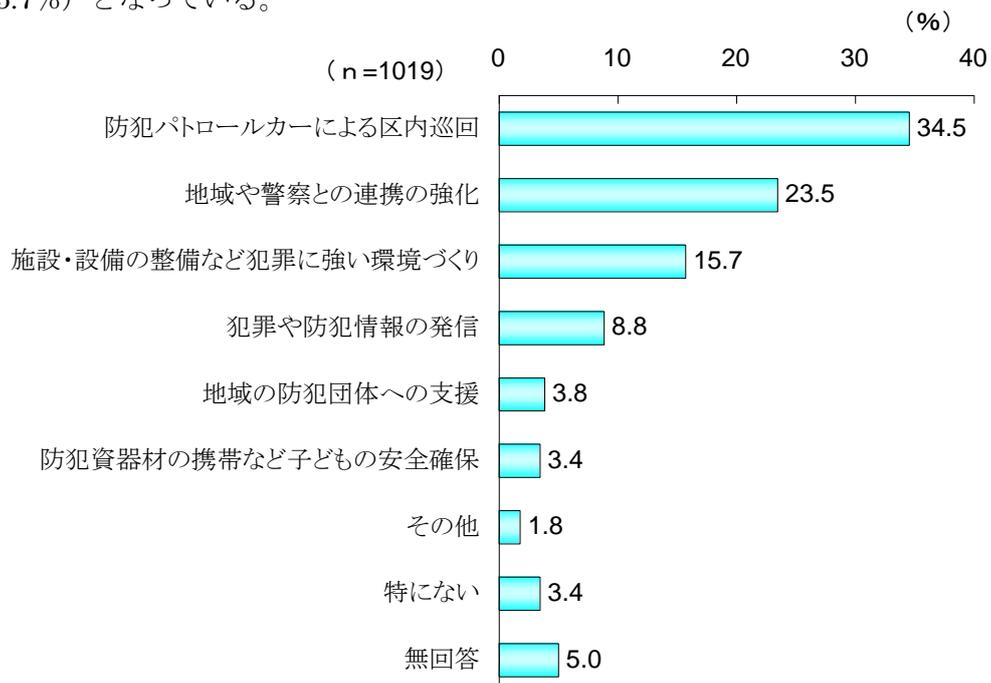
2 日ごろ行っている防犯対策

日ごろ行っている防犯対策について聞いたところ、「特にない」(20.0%)と「無回答」(3.5%)を除いて、何らかの対策をしている人が7割以上となっている。



3 区が取り組むべき防犯対策

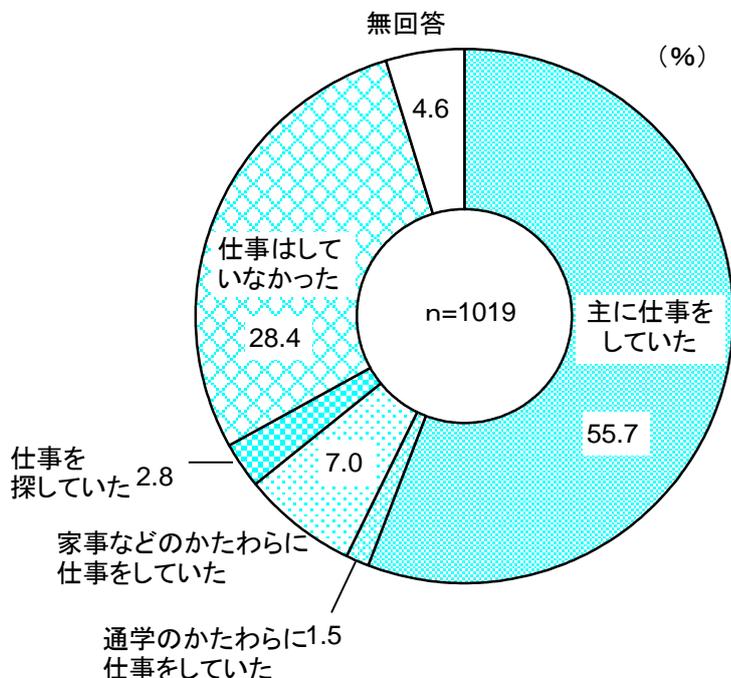
区が取り組むべき防犯対策について聞いたところ、「防犯パトロールカーによる区内巡回」(34.5%)が最も高く、次いで「地域や警察との連携の強化」(23.5%)、「施設・設備の整備など犯罪に強い環境づくり」(15.7%)となっている。



4 仕事

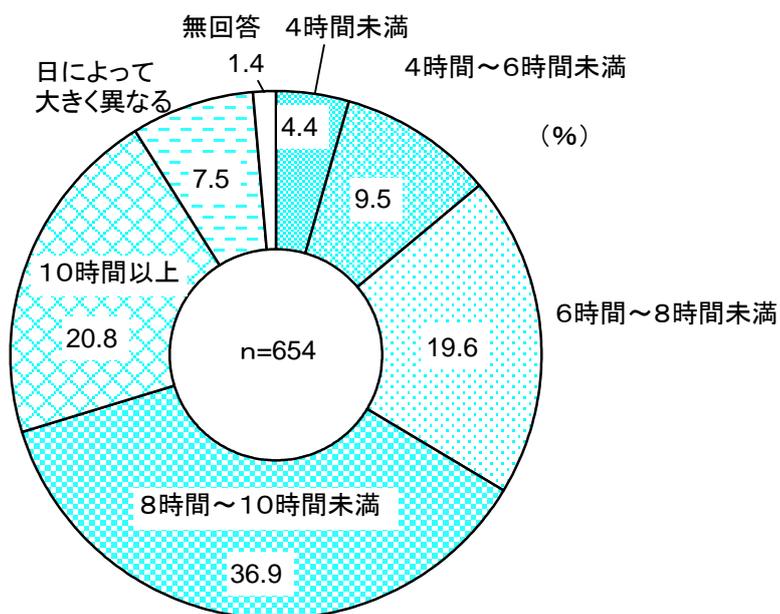
1 就労状況

この1週間に収入を伴う仕事をしたか聞いたところ、「主に仕事をしていた」「通学のかたわらに仕事をしていた」「家事などのかたわらに仕事をしていた」を合計した『仕事をしていた』人は、6割を超えている。一方、「仕事を探していた」は2.8%、「仕事はしていなかった」は28.4%となっている。



1-1 1日の勤務時間

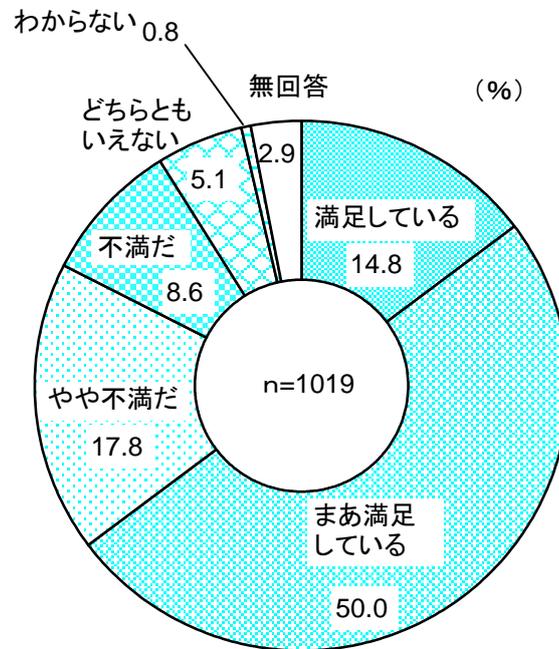
『仕事をしていた』人に1日の勤務時間を聞いたところ、「8時間～10時間未満」(36.9%)が最も高く、次いで「10時間以上」(20.8%)、「6時間～8時間未満」(19.6%)となっている。



5 生活に対する満足度

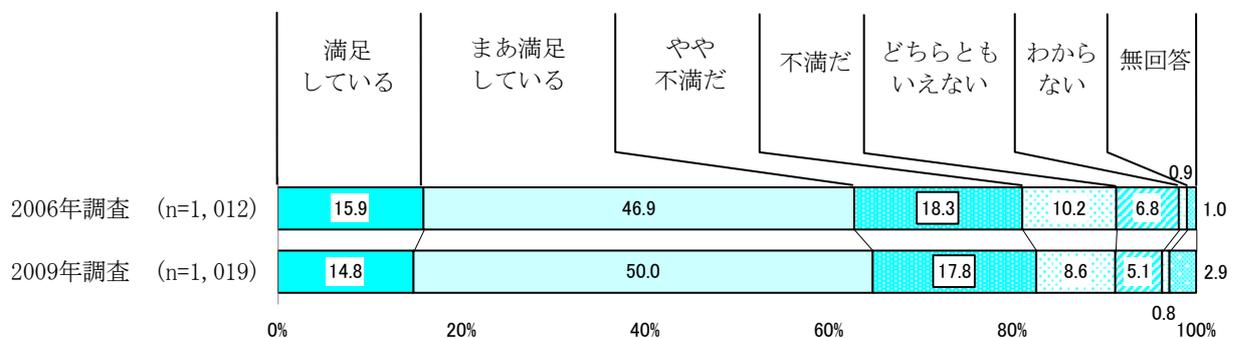
1 生活に対する満足度

現在の生活に対する満足度を聞いたところ、「満足している」「まあ満足している」の合計を『満足層』、「やや不満だ」「不満だ」の合計を『不満層』とすると、『満足層』は64.8%、『不満層』は26.4%となっている。



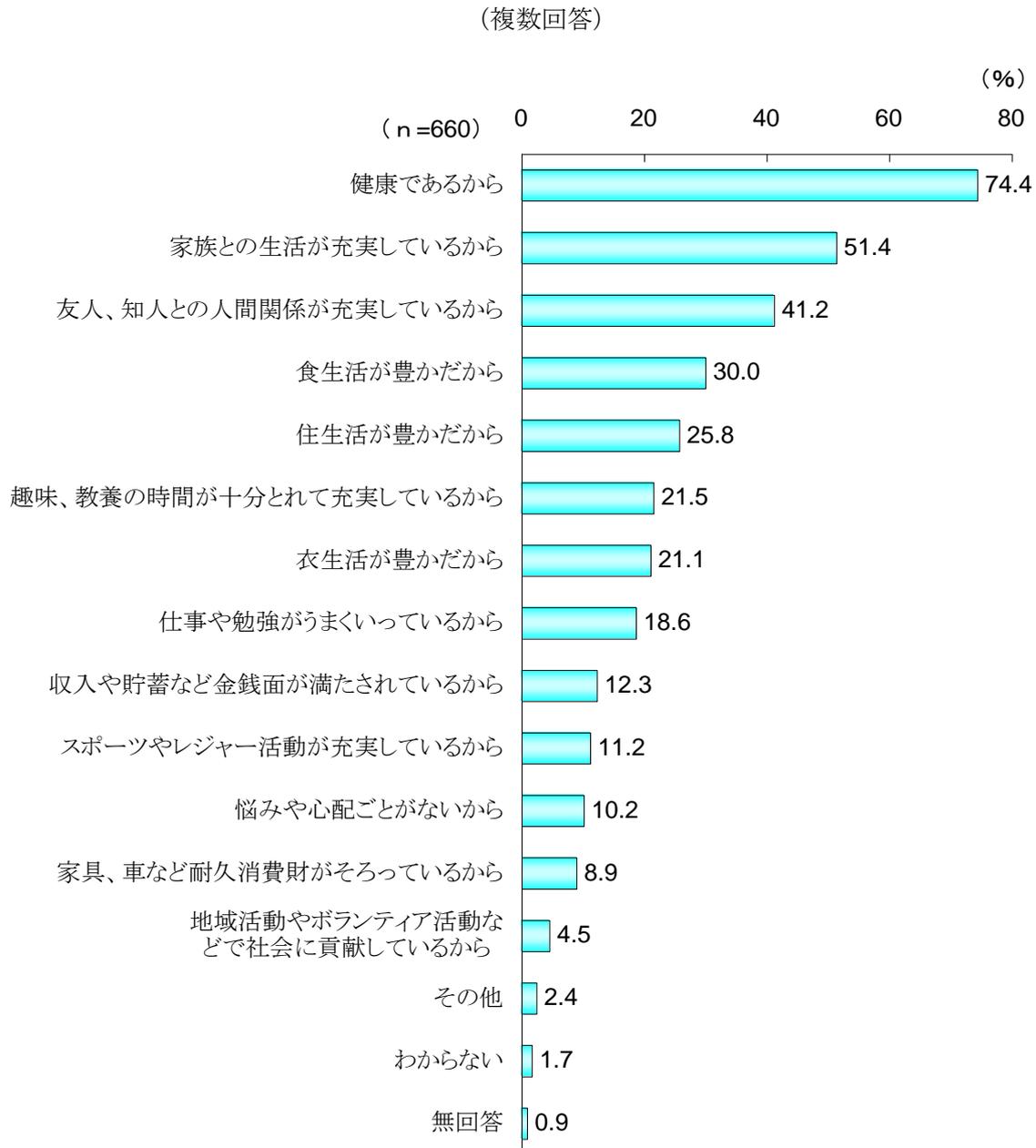
1-1 生活に対する満足度（2006年調査との比較）

前回の調査（2006年）と比較すると、『満足層』が2.0ポイント増え、『不満層』は2.1ポイント減少しているが、大きな変化はみられない。



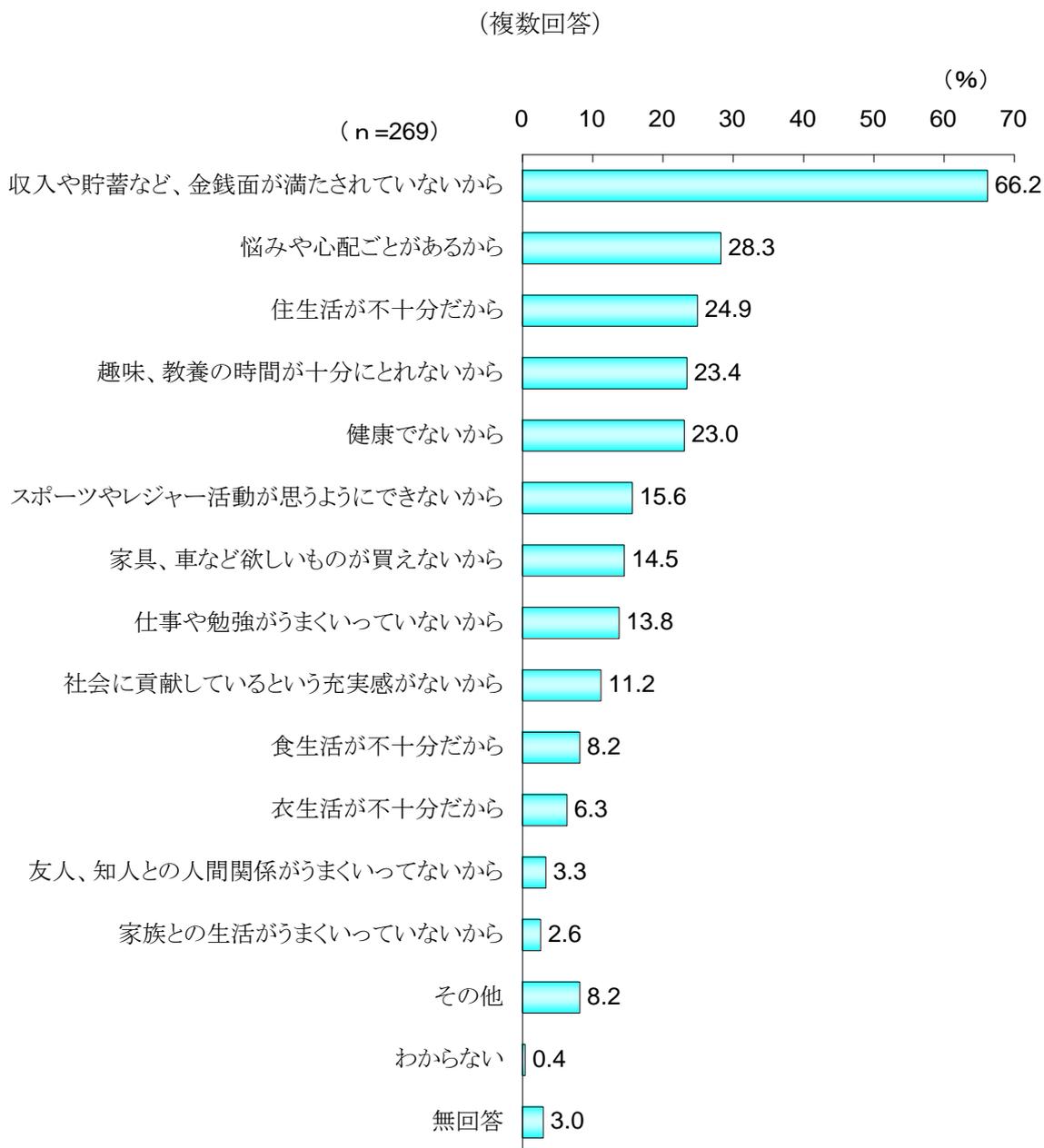
1-2 生活に満足している理由

『満足層』にその理由を聞いたところ、「健康であるから」(74.4%)が最も高く7割を超えている。少し離れて「家族との生活が充実しているから」(51.4%)、「友人、知人との人間関係が充実しているから」(41.2%)が続いており、「収入や貯蓄など金銭面が満たされているから」(12.3%)や「家具、車など耐久消費財がそろっているから」(8.9%)よりも上位にあげられている。



1-3 生活に不満を感じている理由

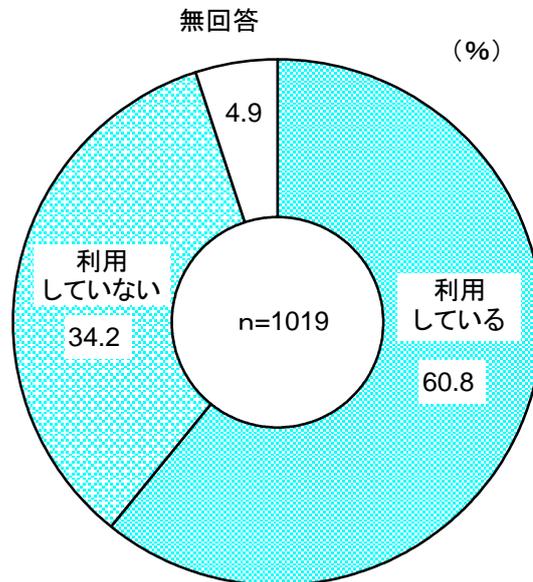
『不満層』にその理由を聞いたところ、「収入や貯蓄など、金銭面が満たされていないから」(66.2%)が圧倒的に高く6割を超えている。大きく離れて「悩みや心配ごとがあるから」(28.3%)、「住生活が不十分だから」(24.9%)、「趣味、教養の時間が十分にとれないから」(23.4%)、「健康でないから」(23.0%)などが続いている。



6 インターネットの利用状況

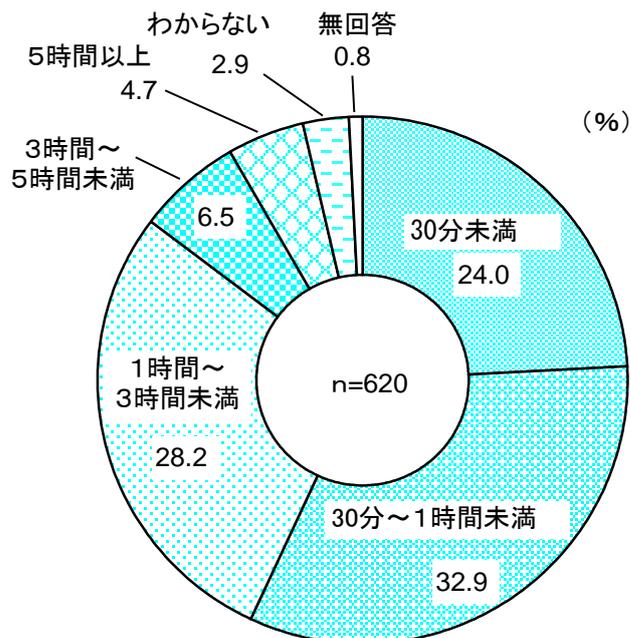
1 インターネットの利用状況

仕事以外のインターネットの利用状況を聞いたところ、「利用している」人は6割となっている。



1-1 インターネットの利用時間

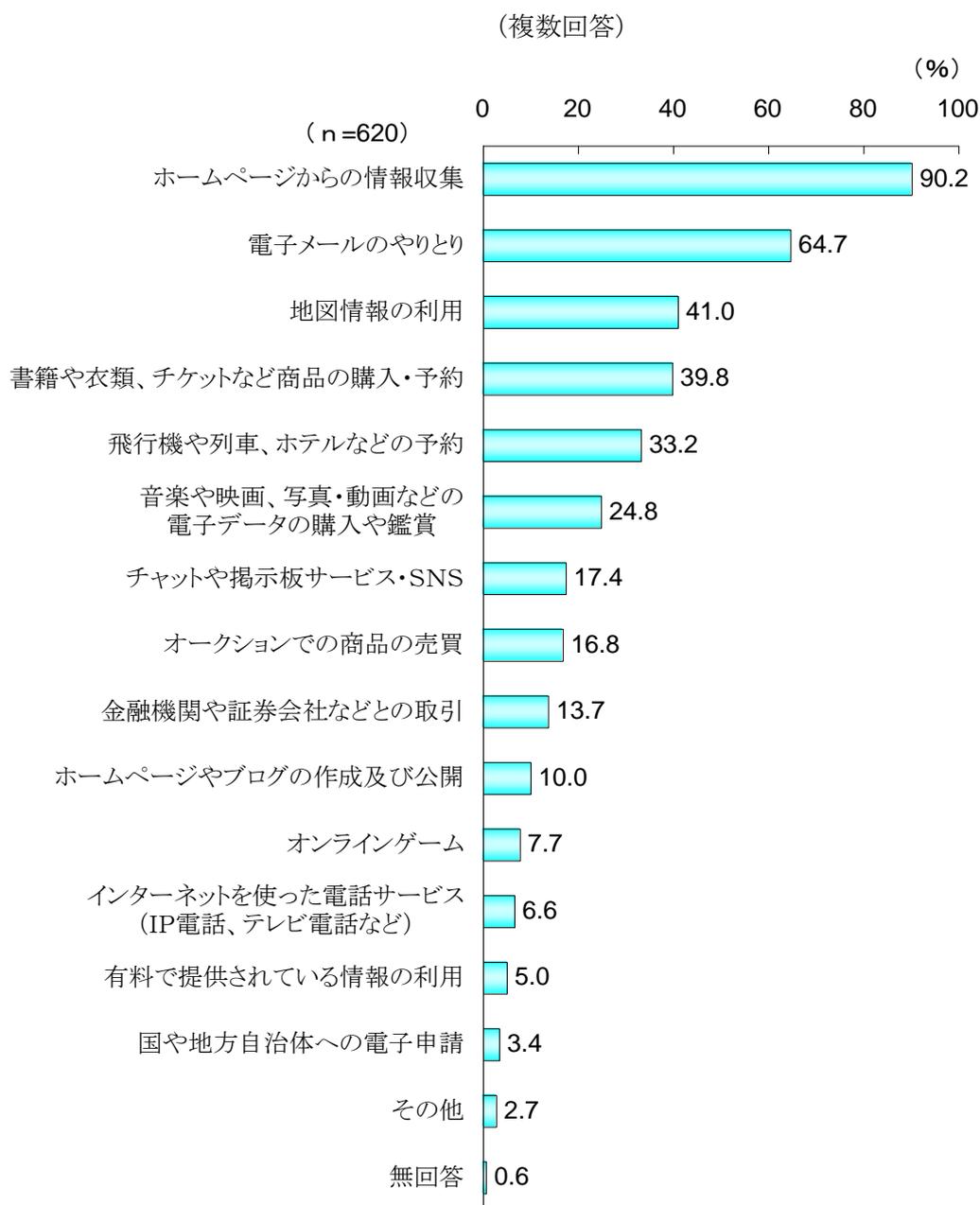
インターネットを利用している人に、1日の利用時間を聞いたところ、「30分～1時間未満」(32.9%)が最も高く、次いで「1時間～3時間未満」(28.2%)、「30分未満」(24.0%)となっている。



1-2 インターネットの利用目的

インターネットを利用している人に利用目的を聞いたところ、「ホームページからの情報収集」(90.2%)が最も高く、次いで「電子メールのやりとり」(64.7%)、「地図情報の利用」(41.0%)と情報検索、通信での利用が上位3項目を占めている。

また、それらに続いて「書籍や衣類、チケットなど商品の購入・予約」(39.8%)、「飛行機や列車、ホテルなどの予約」(33.2%)とインターネット上の買い物が上位にあげられている。

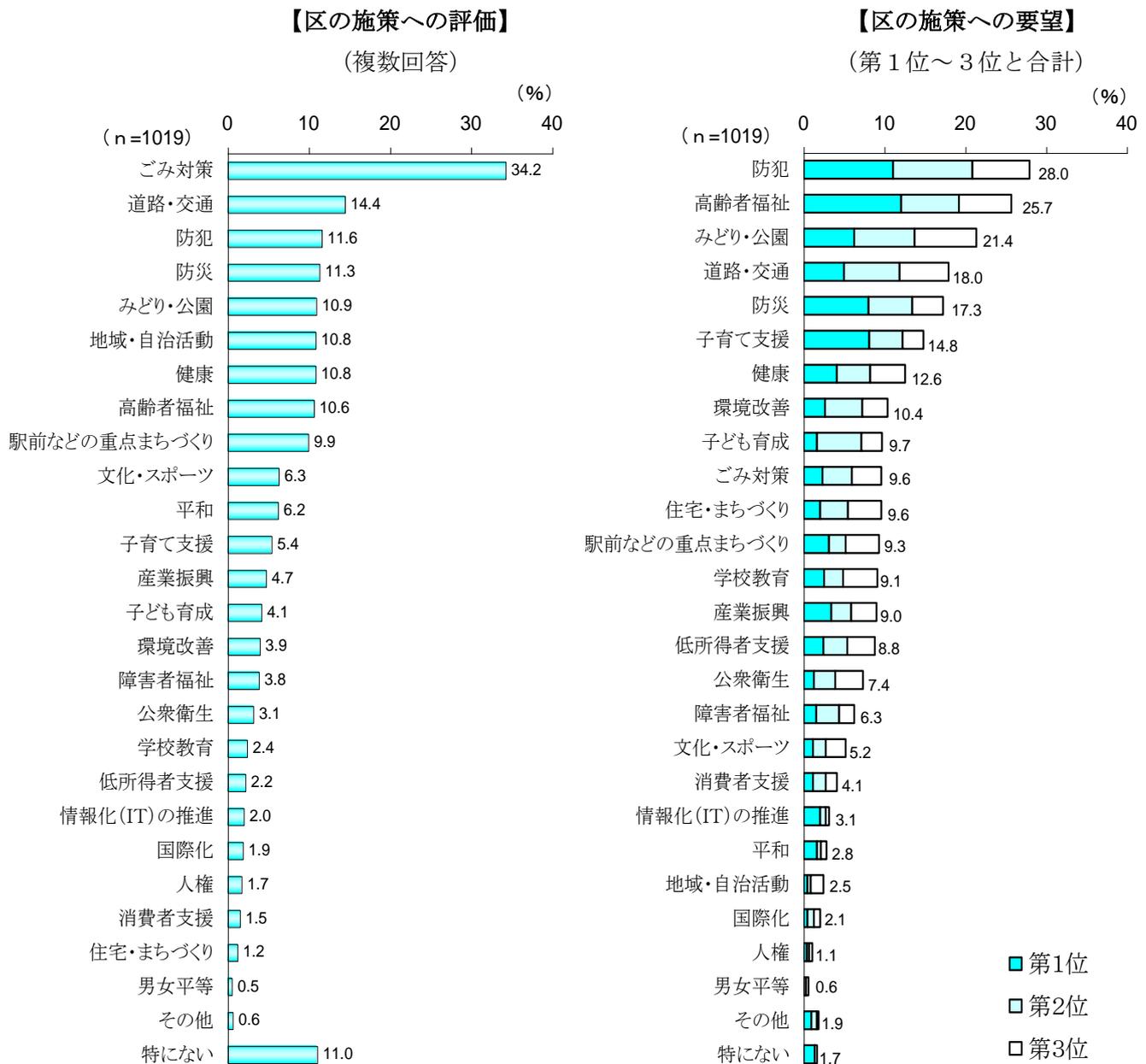


7 施策への要望

1 区の施策への評価と要望

区が力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、前年に続いて「ごみ対策」(34.2%)が3割を超え最も高くなっている。次いで「道路・交通」(14.4%)があげられ、これらに続いて7項目が約1割前後で並んでいる。

また、今後特に力をいれてほしい施策を、1位から3位の順位をつけてあげてもらったところ、その合計では「防犯」(合計28.0%)が最も高く、次いで「高齢者福祉」(25.7%)、「みどり・公園」(21.4%)となっている。

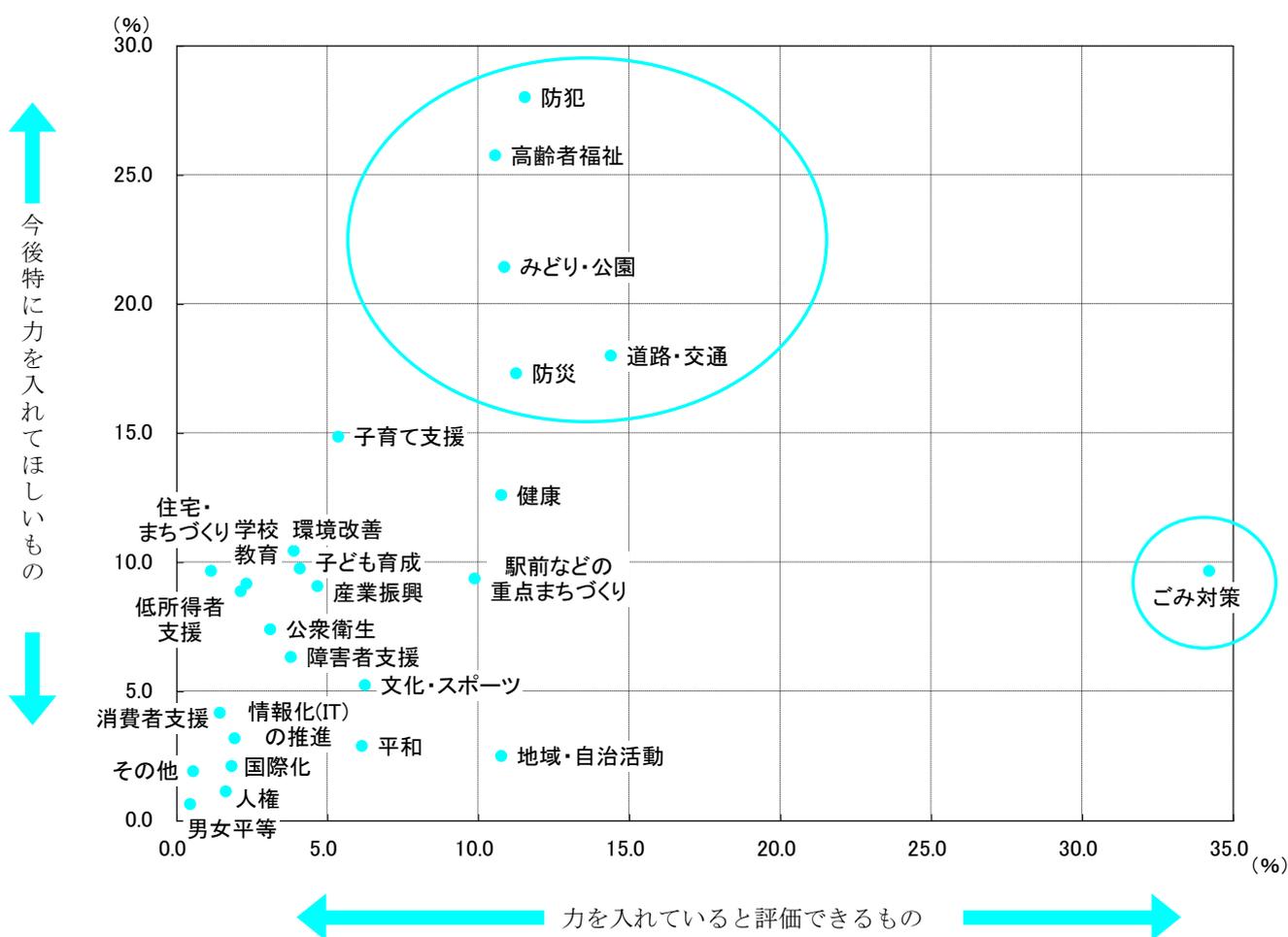


1-1 区の施策への評価と要望（散布図）

区の施策への“評価”と“要望”との関係を見るために、「力を入れていると評価できるもの」を横軸に、「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、25項目とその他の位置をあらわしたのが以下の図である。

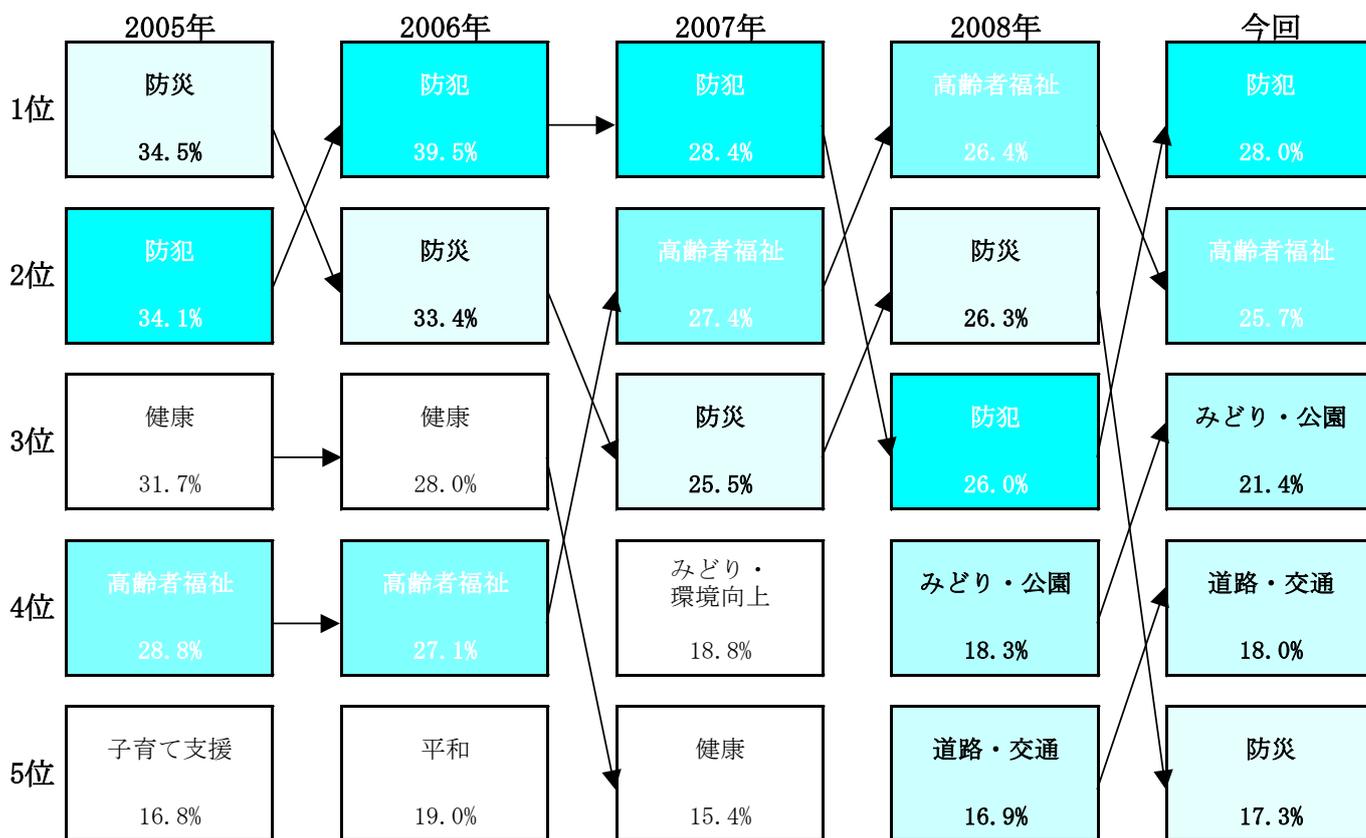
この図では、左下に位置するほど「評価」が低く、「要望」も低い項目であることを、逆に図の右上に位置するものほど「評価」が高く、「要望」も高い項目を意味している。さらに、左上に位置するほど「評価」が低く、「要望」が高い項目であることを、逆に右下に位置するほど「評価」が高く、「要望」が低いことを意味している。

それぞれのカテゴリー別でみると、左上には「防犯」や「高齢者福祉」、「みどり・公園」、「道路・交通」「防災」が位置づけられている。また、右下には、唯一「ごみ対策」が位置づけられている。



2 区の施策への要望（順位の変化）

過去5年間の区の施策要望上位5位の推移をみると、昨年3位であった「防犯」が1位になり、1位であった「高齢者福祉」が2位となっている。これは2007年と同順位である。また、昨年4位であった「みどり・公園」が3位になり、昨年2位で2005年以降上位3位までに入っていた「防災」が、今回は5位となっている。



2009 中野区区民意識調査概要版

平成 22 年 3 月

文書番号 21 中政調第 659 号

発行 中野区政策室統計調査担当

〒164-8501

東京都中野区中野 4-8-1

電 話 03-3228-8892

F A X 03-3228-5643